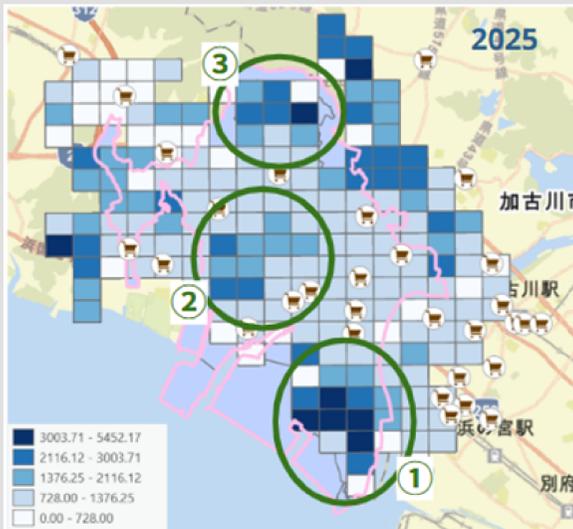


タクシー券×グループ購入 高砂の商業を変革！！



✓ 利用指標

人口的支援優先度×最近スーパー距離RANK×(1+車非所有推定)

【人口的支援優先度】
 $= \log(2025\text{年高齢者人口}+1) \times 2025\text{年高齢者率} \times (1 - 2025-2035\text{年総人口減少率})$
 【最近スーパー距離RANK】
 各メッシュから最も近いスーパーまでの距離をランク付け(数値が大きいほどスーパーまで遠い)
 ~500m→1 / 500-1000m→2 / 1000-1500m→3 / 1500m→4
 【車非所持推定】
 $2020\text{年個人経営体基幹的農業従事者数} \times 0 (-A\text{とする}) +$
 $2025\text{年高齢者率}(A\text{除く}) \times 0.4 + (1 - 2025\text{年高齢者率}(A\text{除く})) \times 0.2$

- ・人口推移や構成変化
- ・訪問販売の需要についても分析

データ分析

高齢化率や車の所持推定、スーパーまでの距離を元に支援優先度を算出→高砂駅付近の支援が急務

「高齢者の孤立」×「買い物困難」×「商業活性化」を同時に解決！

解決①

高齢者の孤立防止

高齢者孤立、フレイル
 → タクシー券相乗りシステムでグループで買い物に
 → 結束強化、フレイル予防

解決②

買い物困難解消

フードデザート・高齢化
 → タクシー券で行動範囲拡大
 → 買い物手段の確保

解決③

地域商業の活性化

人口減・商圈縮小・継承意欲低下
 → グループ消費を市内誘導、クーポン配布、訪問販売との共存
 → 売上向上、地域経済活性化、事業存続

既存資源の「共同利用」と「連携」

タクシー券を用いて高齢者がグループで市内商業施設にお買い物へ
 高砂市の既存資源をつなぎ、高齢者・商業者・行政の利益が循環する仕組みを構築
 さらなる資源創出まで目指す

実現へのロードマップ

STEP1

体制構築と導入準備

「みんなで支える仕組みを作る」
 関係各所が連携し、スムーズに利用できる環境を整えます。

- ・オープンデータ／調査票分析
- ・コンソーシアム設立
- ・ルール／システムの策定

・高砂市役所
 ・高砂商工会議所
 ・タクシー会社
 と打ち合わせ済み！！

STEP2

実証実験と導入

「乗り合いで、お買い物を楽しく、お得に」
 タクシー券相乗りシステムを運用開始し、街へ出かける動きを作り出します。

- ・お買い物グループ形成
- ・システム連携／フィードバック
- ・効果検証

STEP3

地域モデルの確立と未来へ

「移動から生まれる、賑わいのある高砂へ」
 制度を定着させることで地域の助け合いと商業の発展へつなげます。

- ・制度の恒久化
- ・荒井駅周辺の高架化に伴う商業拠点の再整備

現在

2026年度～

2030年度以降

協働する主体（コンソーシアム）
 高砂市役所 | 高砂商工会議所 | 老人会 | タクシー会社 | 商業者 | 兵庫県立大学
 企画：高砂市の夢学生2025

